

## 0. 講義をはじめるにあたっての注意

講義の時間帯：月曜日1時限（08:40～10:10）

場所：講義棟2号館・中講義室4

▽講義担当者の予定

04/09, 04/16, 04/23, 05/07	辻原（地域環境調整工学担当）（04/30は祝日）
05/14, 05/21, 05/28, 06/04	北原昭男先生（木質構造学担当）
06/11, 06/18, 06/25	鄭一止先生（都市計画学担当）
07/02, 07/09, 07/23, 07/30	佐藤哲先生（建築計画学担当）（07/16は祝日）

注1）上記の担当者と日程は、予定です。変更になる可能性もありますので、注意してください。

注2）この科目は、**他の科目と異なり**、オムニバス形式（1人ではなく、4人での分担）で行われます。それぞれの教員ごとに行った評価を集計したものが最終評価になると思われるので、履修の際には十分注意してください。試験の実施時期やレポートの提出や成績の評価については、各教員の指示に従ってください。

質問などは、下記の担当者まで

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角

電話：096-321-6706（直通）、もしくは383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

辻原が不在の際は、下記まで

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（田中研究室））

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

## 1. 居住環境へのアプローチ

居住環境＝私たちの意識や行動に何らかの作用を及ぼすと同時に、私たちの意識や行動によって何らかの作用を及ぼされている、\_\_\_\_\_や私たちの\_\_\_\_\_をとりまく\_\_\_\_\_のこと（ただし、これは辻原の考え方）。

私たちを取り巻く環境をどのように捉えるか？（分けられるか？）

┌—社会環境＝\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_の\_\_\_\_\_作用（人間の気持ち、心理、意識など）

└—物理的環境＝人間と\_\_\_\_\_との相互作用（（\_\_\_\_\_）\_\_\_\_\_，\_\_\_\_\_（+\_\_\_\_\_），  
| \_\_\_\_\_，\_\_\_\_\_など）

└—└\_\_\_\_\_環境

└—人間が手を加えた\_\_\_\_\_環境

※構築環境：自然環境に人為的な造成を加えてつくり出された環境。

⇒別の捉え方をすれば、次のようにも分けられる

┌—\_\_\_\_\_スケールの違い（身体のまわり、部屋、住まい、町内、都市、地域・・・）

| ※特に住まいの内部（\_\_\_\_\_環境）と住まいの外部（\_\_\_\_\_環境）に区別する  
| ことが多い。

└—\_\_\_\_\_レンジの違い（ある瞬間、1日、1週間、1年、数年、生涯・・・）

※連続的で均質な等間隔目盛りの\_\_\_\_\_な時間の概念と私たちの感じる  
（\_\_\_\_\_する）時間の概念は異なる。

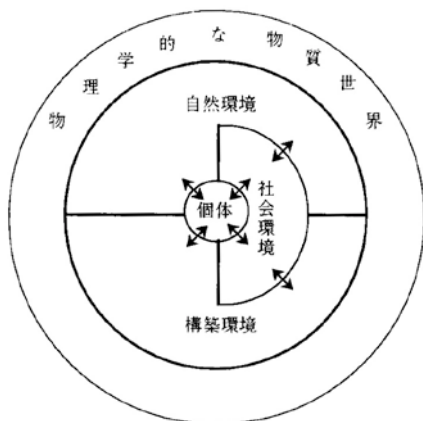


図1 環境の概念図

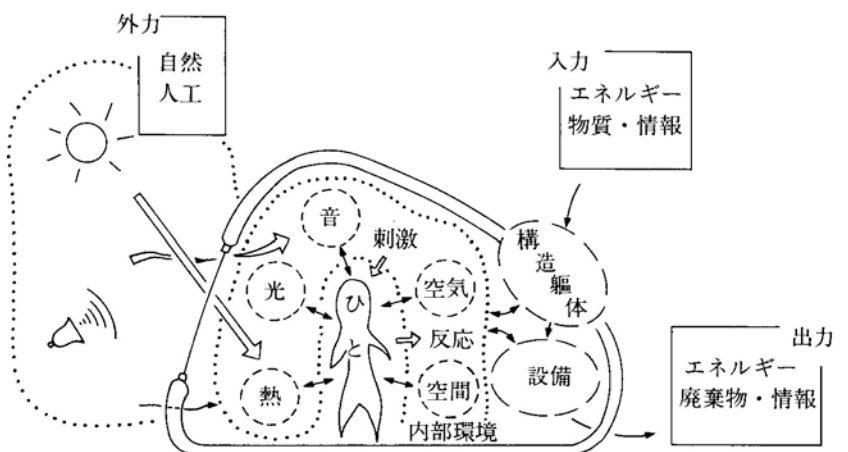
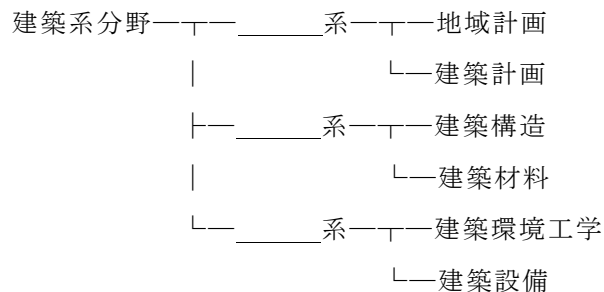


図2 住まいを中心とする環境と人間の相互作用

## 2. よりよい居住環境を創るために

### 建築系分野の枠組み



※法律や経済，心理学などのいわゆる文系の内容から，電気や機械などの工学，流体力学などの理学，それに医学まで幅広く関係があります。

※※環境資源学科で学ぶ内容とリンクしている科目もあり，食健康科学科で（ほぼ）同じ内容が講義されていることもあります。

### 居住環境学

われわれをとりまく周囲の環境の

- 1) \_\_\_\_\_性（→構造系）
- 2) \_\_\_\_\_性， \_\_\_\_\_性， \_\_\_\_\_性（→環境系，計画系）
- 3) \_\_\_\_\_（→計画系）

を実現しようとする学問体系。

→自分に身近な住宅を例に考えてみよう

◇ われわれを取り巻く環境は，本当に良い環境なのか？

「現状の環境に満足している」＝「現状の環境は良い」と言っても良いのか？

良い環境を知らないから，現状に満足しているだけなのかもしれないのではないか？

## 付録（レポート・論文の書き方）

レポートは、人に読んでもらうためのものです。従って、自分で何を書いているのかわからないようなレポートは提出しないでください。レポートには必ず「読む人」がいます。レポートの評価を行うのは、「読む人」です。書き手が評価を行うものではありません。

まず、第一に、「読む人」に理解してもらえるように、わかるように、書くことを心がけてください。

→さらに一歩踏み込んで、「読む人」を納得させるためには、どのようなレポートを書けばいいのか、を考えてレポートを作成するように心がけて下さい。

→→レポートは、高校までの（読書）感想文とは違います。主観的な文章ではなく、客観的に筋道が示されている文章にしましょう。

※まずは、（パソコンを使って）長い目の文章を書く練習から始めましょう。

『文字を読む。文字を書く。』⇒『文章を読む。文章を書く』

社会に出る前に、しっかり身につけましょう！！

熊本県立大学 学術情報メディアセンター 図書館

(<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~toshio/index-j.html>) の『蔵書検索』で、「論文作法」をキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な本がでてきますので、参考にしてください。

→図書館の1階の展示コーナー「就活応援コーナー」の一部に「レポート入門編」と「レポート・卒論」の棚があります。是非参考にしてください。

熊本県立大学 学術情報メディアセンター 図書館に所蔵されている本や辻原の知っている範囲では、例えば、以下のような本を、読んでみては如何でしょうか。

### 【入門編-学生生活の基本と共に】

- 1) 『スタディスキルズ・トレーニング 大学で学ぶための25のスキル[改訂版]』（吉原恵子・間瀬泰直・富江英俊・小針誠，実教出版，2017年9月，1,200円＋税，ISBN：978-4-407-34061-7）〔所蔵なし〕

→初版（2011年発行）は〔就活・レポート（1F），377.15||Y 87，0000342518〕

- 2) 『レポート論文の Start Line 書ける自分を作る』（居駒永幸・畑中基紀・岡崎直也・斎藤静隆・永野宏志編，おうふう，2012年10月，1,500円＋税，ISBN：978-4-273-03706-2）〔就活・レポート（1F），816.5||I 37，0000371521〕

- 3) 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ 第4版』（学習技術研究会編著，

- くろしお出版, 2015年4月, 1,800円+税, ISBN:978-4-87424-650-4)〔和書(2F), 377.15||G16, 0000375698〕
- 初版(2002年発行)は〔和書(2F), 377.15||G16, 0000261688〕〔書庫(4F), 377.15||G16, 0000261864〕
- 改訂版(2006年発行)は〔和書(2F), 377.15||G16, 0000311457〕
- 改訂版第4刷(2008年発行)は〔和書(2F), 377.15||G16, 0000327677〕
- 第3版は(2011年発行)は〔和書(2F), 377.15||G16, 0000350312〕
- 4)『**広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン**』(北尾謙治ほか, ひつじ書房, 2005年5月, 1,600円+税, ISBN:4-89476-242-0)〔和書(2F), 377.15||Ki71, 0000293704〕
- 5)『**大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法 改訂第2版**』(松本茂・河野哲也, 玉川大学出版部, 2015年3月, 1,500円+税, ISBN:978-4-472-40513-6)〔就活・レポート(1F), 002.7||Ma81, 0000366076〕
- 初版(2007年発行)は〔和書(2F), 002.7||Ma81, 0000309779〕
- 6)『**情報と知識の海-現代を航海するための 知のナビゲーター**』(中澤務・森貴史・本村康哲編, くろしお出版, 2007年4月, 1,800円+税, ISBN:4-87424-372-5)〔和書(2F), 377.15||N46, 0000309780〕
- 7)『**理系学部合格したら読む本**』(井手弘人・内藤克浩・根本泰雄, 化学同人, 2007年5月, 1,200円+税, ISBN:978-4-7598-1097-4)〔和書(2F), 377.9||I19, 0000309778〕〔書庫(4F), 377.9||I19, 0000306485〕

【基礎編-1年生からのレポート作成のために】

- 8)『**講談社現代新書 2021 新版 大学生のためのレポート・論文術**』(小笠原喜康, 講談社, 2009年11月, 720円+税, ISBN:978-4-06-288021-3)〔文庫本(3F), 080||49||2021, 0000328004〕
- 初版(講談社現代新書1603, 2002年発行)は〔書庫(4F), 080||49||1603, 0000259322〕
- 9)『**レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション**』(石坂春秋, くろしお出版, 2003年3月, 1,400円+税, ISBN:4-87424-273-1)〔和書(3F), 816.5, 9000006625〕
- 10)『**Wordを使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ**』(佐良木昌, 明石書店, 2004年10月, 1,600円+税, ISBN:4-7503-1983-X)〔就活・レポート(1F), 816.5||Sa69, 0000290926〕
- 11)『**レポート・論文の書き方入門 [第3版]**』(河野哲也, 慶應義塾大学出版会, 2002年12月, 1,000円+税, ISBN:4-7664-0969-8)〔書庫(4F), 816.5||Ko76, 0000285910〕
- 初版(1997年発行)は〔書庫(4F), 816.5, 9000002010〕

→改訂版（1998年発行）は〔書庫（4F）, 816.5||Ko 76, 0000252694〕

【応用編-4年生での卒業論文も視野入れて】

12) 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』（山内志朗, 平凡社, 2001年9月, 700円+税, ISBN: 4-582-85103-7）〔文庫本（3F）, 080||H 51||103, 0000275301〕, 〔書庫（4F）, 080||H 51||103, 0000270456〕

13) 『NHK ブックス 1194 新版 論文の教室 レポートから卒論まで』（戸田山和久, NHK出版, 2012年8月, 1,200円+税, ISBN: 978-4-14-091194-5）〔和書（3F）, 816.5||To 17, 0000352921〕

→初版（NHKブックス954, 2002年発行）は〔和書（3F）, 816.5||To 17, 0000276644〕

14) 『大学生と大学院生のための レポート・論文の書き方 第2版』（吉田健正, ナカニシヤ出版, 2004年4月, 1,500円+税, ISBN: 4-88848-868-1）〔就活・レポート（1F）, 816.5||Y 86, 0000312379〕

→初版（1997年発行）は〔和書（3F）, 816.5||Y 86, 0000263004〕

15) 『これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版』（酒井聡樹, 共立出版, 2017年7月, 1,800円+税, ISBN: 978-4-320-00598-3）〔就活・レポート（1F）, 816.5||Sa 29, 0000376640〕

→初版（2007年発行）は〔書庫（4F）, 816.5||Sa 29, 0000309758〕

16) 『建築系学生のための卒業論文の書き方』（山口廣・笠井芳夫・浅野平八, 井上書院, 2008年4月, 1,800円+税, ISBN: 978-4-7530-1056-1）〔和書（2F）, 520.7||Y 24, 0000317372〕

17) 『論文はデザインだ!』（渡邊研司, 彰国社, 2008年5月, 1,95円+税, ISBN: 978-4-395-24107-1）〔和書（2F）, 520.7||W 46, 0000317373〕〔書庫（4F）, 520.7||W 46, 0000314903〕

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが、気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとよいと思います。

その他にも、いろいろな本がありますので、大学の売店（丸善）や下記の本屋などで探してみてください。

1) 紀伊國屋書店 熊本光の森店（営業時間：10:00～22:00, 年中無休）

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森 7-33-1 ゆめタウン光の森内 2F

電話：096-233-1700 FAX：096-233-1701

<https://www.kinokuniya.co.jp/c/store/Kumamoto-Hikari-no-Mori-Store/>

- 2) 紀伊國屋書店 熊本はません店（営業時間：10:00～22:00，年中無休）  
〒862-0965 熊本市南区田井島 1-2-1 ゆめタウンはません 3F  
電話：096-377-1330 FAX：096-377-1339  
<https://www.kinokuniya.co.jp/c/store/Kumamoto-Hamasen-Store/>
- 3) 蔦屋書店 熊本三年坂（営業時間：09:00～深夜 01:00，元日店休）  
〒860-0801 熊本市中央区安政町 1-2  
電話：096-212-9111 FAX：096-212-9890  
<http://store-tsutaya.tsite.jp/storelocator/detail/8000.html>
- 4) 熊本大学生協の学生会館ショップ書籍・雑誌コーナー（営業時間：8:10～19:00（土日祝休み））  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1  
電話：096-343-6321 FAX：096-345-8239  
<http://ha9.seikyoku.ne.jp/home/kumamoto-u/index.html>  
→生活協同組合熊本インターカレッジコープアカデミアも参照  
→<http://kyushu.seikyoku.ne.jp/in-km/>

また、下記のホームページなどが参考になるかもしれません。その他に、自分でも、「レポート」、「書き方」などのキーワードで検索してみてください。大量に検索できるはずですよ。

- ・ [http://asc.high.hokudai.ac.jp/learning\\_support/seminar/report.php](http://asc.high.hokudai.ac.jp/learning_support/seminar/report.php)（北海道大学ラーニングサポート室 学習支援 レポートの書き方）
- ・ <http://www.lib.saga-u.ac.jp/guide/report/>（佐賀大学附属図書館 探し方サポート レポートの書き方入門）
- ・ <http://www.hosei.ac.jp/library/shien/report/>（法政大学図書館 学習支援 レポート・論文を書くには）
- ・ [http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/write\\_paper/paper.html](http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/write_paper/paper.html)（兵庫教育大学 学校教育研究センター 論文の書き方）
- ・ <http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~urakami/class.html>（南山大学 うらかみのホームページ）
- ・ <http://www1.gifu-u.ac.jp/~shogo/informationliteracy/index.html>（岐阜大学 森林生態学研究室 大学生のための情報リテラシー）
- ・ <http://www.ia.inf.shizuoka.ac.jp/~nomiyama/report.htm>（静岡大学 許山研究室）
- ・ <http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakasumi/reportp.htm>（駒沢在学 中済光昭（先生） レポートの書き方）
- ・ <http://www.agu.ac.jp/~nomura/lecture/report.htm>（愛知学院大学経済学部 野村友和（先生） レポートに関する注意）
- ・ <http://mcn-www.jwu.ac.jp/~kuto/Writing/HowToWrite.html>（日本女子大学 情報を活用し

たレポートの構成・作成法)

<http://yonosuke.net/eguchi/archives/587> (京都女子大学 江口聡 (先生) レポートの書き方)

<http://www.mycon10ts.com/top.htm> (卒論・レポートの書き方・ポータルサイト)

<http://www.shouronbun.com/> (小論文の書き方・レポートの書き方)

<http://www.report.gusoku.net/> (大学レポートの書き方)

<http://www.thesis-report.com> (論文・レポートの書き方)

<http://www.happycampus.co.jp> (ハッピーキャンパス) ←教員としてはちょっとお薦めし難い

<http://daikore.com/report/> (大学生はこれを見ろ)

<http://magazine.campus-web.jp/archives/210744> (Campus Magazine)

注) これらのサイトの内容については、自分の責任で確認して下さい。辻原自身が全ての内容を確認したわけではありません。